



ロータリーは
機会の扉を開く



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報 **なんと**

NO. 2513

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影
写真同好会
谷村修基会員



ピンクムーンの日 月の出

第2572回例会 令和3年5月18日(火) 小雨

《社会奉仕活動》例年のオミナエシ苗植え作業

前日の午前6時苗植付け場所の下草刈りに引き続き、18日午前6時より植付作業開始。

◆会長の時間 木勢博文会長

皆さんおはようございます。今日は皆さんの日頃の行いがよかったですので、雨も小降りです活動に支障がなく良かったです。

オミナエシは、おみなえし科の多年生植物。秋の七草（食わずに愛でる七草）の一つ。山野に自生し、秋、黄色の小花を多数かさ状につける。根を干したものは漢方薬。漢方で根を敗醬(はいしょう)といい、利尿剤とする。おみなめし。

和名の由来は、同属で姿がよく似ている白花のオトコエシ(男郎花)に対する「女郎花」で、全体にやさしい感じがするところから名付けられたとされる。「オミナエシ」の読み語源はよくわかっていないが、一説には「エシ」は「押し(へし)」であり、花の姿の美しさは美女を圧倒するという意味だとする説がある。漢字で「女郎花」と書くが、これは漢名ではなく、日本では「敗醬」を当てていた。花を室内に挿しておくと、やがて醤油の腐敗したような匂いになっていくことに由来する。別名を、オミナメシや、チメグサともいう。花言葉：約束を守る。

漢名(中国植物名)は、黄花竜牙。花言葉は、「優しさ」「親切」「美人」である。

平安時代の紫式部『源氏物語』では「女郎花しほるゝ野辺をいづこと一夜ばかりの宿を借りけむ」(夕霧の巻)

では女郎花の正しい読み方は、「おみなえし」「じょろうばな」どちらなのか。女郎花の正しい読み方は「おみなえし」になります。「おみなえし」と読むのは"熟字訓(じゅくじくん)"と言われる読み方で、熟字訓とは漢字(1字)に読み方をあてるのではなく、熟字(2字以上)に訓読みをあてた読み方のことです。

熟字に訓読みをあてた読み方だから、熟字訓(じゅくじくん)です。

"訓読みは日本由来の読み方"のことで、"音読みは中国由来の読み方"のことです。

"草"の訓読みは「くさ」で聞いただけで意味を理解できませんが、音読みは「そう」でこれだけでは意味が分かりにくい。



女郎花は「オミナエシ科の多年草のこと」の意味として用いられています。山野に自生していて、夏・秋に黄色の小花をたくさん咲かせ、さらに女郎花の根は乾かして利尿剤に用いられています。女郎花は秋の七草のひとつで、秋の七草は"萩(はぎ)・薄(すすき)・葛(くず)・撫子(なでしこ)・女郎花(おみなえし)・藤袴(ふじばかま)・桔梗(ききょう)"の七つです。



前日5/17朝5時過ぎに駆けつけた7人の侍、愛用の草刈機で忽ち滑々に...

本日のプログラム 5月25日(火) 第2573回例会
《会場変更》ゴルフ例会 於：ゴールドウイン 点鐘 12:00
卓話12:30 コンベ開始13:00 担当 岩木貴之会員

◆出席報告 山田清志委員長

会員数	5月18日出席率	4月27日の修正
45 (免除1)	79.55% (欠9)	91.11% (欠4・メーク7)

次回の予定 6月1日(火) 第2574回例会
ゲストスピーカー (株)日本抵抗器製作所 代表取締役社長 木村 準様
(ZOOM卓話) 例会点鐘 12:15 卓話12:30 閉会13:00 担当 荒井会員



5月18日午前6時から、桜ヶ池周辺の社会奉仕活動に34名の会員が参加して行われた。今年は、オミナエシの植栽、そして前日には草刈機による下草刈の作業を行った。

霧雨のなか、苗植えに励んだ。皆さん同じようにマスク、ロータリージャンパーで身を固めているので誰彼判らない。作業は2005年からの継続行事ともあって、もう手慣れたもので6時には殆ど終わっていた。オミナエシの苗50本は小矢部園芸高校の先生や生徒さん達が、丹精こめて育苗されたもので、それを私達は池の堤防下の遊歩道の斜面に愛情を込めて植え込んだ。今年の苗は間違いなく立派に育つと信じている。石崎和三委員長の日頃の行いが天に評価され、前日といい、当日も霧雨に収まったのは幸いといえるでしょう…。イヤイヤお疲れ様でした。

桜ヶ池は昭和29年に築造された人造湖です。昭和57年、城端町町村合併30周年記念に周囲3kmの沿道と公園に1000本の桜を植樹しました。その中にロータリークラブの桜として55本が仲間入りし、それから38年が過ぎ、今では見事な花を咲かせてくれます。その桜の幹に、それぞれの管理者の名札を付けていたのですが、名札が傷んだり、外れたりしたため、今では数本にのみにしかついてないようです。



武田 慎一 会員は6時に作業を終えて富山へ

19 (城端ニュース) 2021年(令和3年)5月19日 水曜日

県西部

よみがえれオミナエシ

南砺R.Cのメンバー
桜ヶ池公園に苗植え

南砺市城端地区の桜ヶ池公園で、オミナエシの苗を植える作業が行われた。参加したのは、南砺市ロータリークラブ(R.C)のメンバーら約30人。オミナエシは、昭和29年に築造された桜ヶ池公園の遊歩道の斜面に、毎年植栽されている。オミナエシは、昭和57年に、城端町と小矢部町の合併30周年記念事業の一環として、南砺市ロータリークラブ(R.C)のメンバーら約30人が、オミナエシの苗を植える作業を行った。オミナエシは、昭和29年に築造された桜ヶ池公園の遊歩道の斜面に、毎年植栽されている。オミナエシは、昭和57年に、城端町と小矢部町の合併30周年記念事業の一環として、南砺市ロータリークラブ(R.C)のメンバーら約30人が、オミナエシの苗を植える作業を行った。



(今回の会報担当・古軸裕一)



朝から一杯やりたいねえ…!

北日本新聞さんにも記事にして報じて貰った(5・19)